

海の事故情報（七管区） 【速報値】(6月13日～6月19日)

令和4年6月23日

船の事故	発生日	発生日	船舶種類	事故形態
	6月15日(水)	佐賀県	漁船	運航不能
	6月15日(水)	福岡県	プレジャーボート	乗揚
	6月16日(木)	福岡県	プレジャーボート	乗揚
	6月16日(木)	長崎県	プレジャーボート	浸水
	6月17日(金)	佐賀県	プレジャーボート	転覆
	6月17日(金)	佐賀県	プレジャーボート	運航不能
	6月18日(土)	長崎県	その他	運航不能
	6月18日(土)	山口県	プレジャーボート	運航不能
人の事故	発生日	発生日	事故区分	事故内容
	6月13日(月)	佐賀県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	病気
	6月15日(水)	福岡県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	負傷
	6月16日(木)	大分県	マリレ以外の海浜事故	海中転落
	6月17日(金)	福岡県	マリレ以外の海浜事故	海中転落
	6月17日(金)	長崎県	マリレ以外の海浜事故	海中転落
	6月19日(日)	長崎県	マリレ以外の海浜事故	海中転落

**霧発生中の事故に注意！**

【問合せ先】  
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場  
安全対策調整官 川部  
TEL：093-321-2931（内線2640）

【事件事例】

令和4年6月19日02:00頃、事故船舶は漁のため、定係港である高知県の漁港を船長1名で出港、高知県西方海域の漁場にて漁を開始、同日12:00頃、漁を終了し帰港しようと思ったが、既に周囲は霧が深くなっており、GPSで船位を確認しながら帰港することとした。

2時間ほど航走しても島影が見えないため、不安になり霧の合間に見えたプレジャーボートに接近し、現在位置を確認したところ、大分県津久見市だと言われ、北東方向に航走すべきところを北西方向に航走していたことに気が付き、同時に自船GPSに異状が生じていたことに気が付いた。

以後、自身の方向感覚とコンパスを見ながら、四国方面に向けて航走していたが、18:00頃、燃料欠乏により、運航不能となり、118番通報したもの。

事故船舶は、水難救済会所属の船舶により曳航救助された。



●霧発生時の事故防止のために

●自船の位置の把握

霧が深くなると周囲の物標が見えなくなります。レーダーやGPS等様々な手段を用いて常に自船の位置を把握しておきましょう。

また、「海の安全情報」のスマートフォン用サイトを活用すれば、スマートフォンのGPS情報から、地図上での現在位置と北緯・東経を確認できます。

●最新の気象情報の入手

出港前には、必ず海の安全情報やラジオ放送等から最新の気象情報を入手し、霧や雨などで見通しが悪くなりそうな時は、出港をとりやめましょう。また、航行中であっても、最新の気象情報を入手し、自船の位置を見失う前に早めに帰港するように心がけましょう。

●見張りの強化、安全な速力の励行

霧発生時の視程が100メートル以下となることもあります。五感を駆使した見張りを行い、レーダー等の航海計器を適正に利用しましょう。

また、船舶交通の輻輳度など周囲の状況を考慮した安全な速力で航行しましょう。

(10ノットの速力で、100メートル進む時間はわずか20秒ほどです。)



「海の安全情報」スマートフォン用サイト

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

